

見本

※両面印刷をお願い致します。

様式①

令和元年度日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー理論試験受験願書
(免除適応コース個人提出用)

必ず記入をお願い致します。(X以外の部分)

(フリガナ) 氏名	(男・女)	学籍番号
生年月日	(西暦) 年 月 日 生まれ	※卒業生は在学時の番号 ※不明な場合は記入せずにお送り下さい
受験希望会場 希望順に番号を記入してください。	第1希望()、第2希望()、第3希望()、第4希望() 1. 札幌 2. 仙台 3. 東京 4. 名古屋 5. 大阪 6. 福岡 ※申し込み状況により、第1希望の会場で受験できない場合があります。第4希望会場まで必ず記入してください。	
免除適応コース 承認校名	仙台リポートアドスポーツ専門学校	
同上 卒業年月	(西暦) 年 月	1. 卒業(修業) 2. 卒業(修業)見込 ※既卒生は、共通科目ⅠⅡⅢ修了証明書及びAT専門科目講習修了証明書の写しを添付してください。証明書の添付がない場合は受験することができません。紛失した場合は早急に再発行の手続きをしてください。 ※在学生は、共通科目ⅠⅡⅢ修了証明書及びAT専門科目講習修了証明書発行の申請を卒業時に必ず行ってください。この申請をしない場合、試験の結果は全て無効となります。
赤十字救急法救 急員証の有無	有()・無()	※赤十字救急法救急員認定証(有効期限内)の写しをこの申込書の裏に貼り付けてください。認定証がない場合は、理論試験を受験することができません。
実技試験合格证 の有無	有()・無()	※実技試験合格证をお持ちの方は、合格证の写しを添付してください。
各種書類 原本証明	本受験願書に添付した各種書類(救急法救急員認定証、適応コース修了証明書・実技試験合格证(該当者のみ)の写しは原本と相違ないことを証明します。 AT専任教員名【専任:主】() (印)	

この写真は、受験者本人に相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

免除適応コース承認校名

及び長の氏名(印)

印

※写真の条件は下記を厳密に写真貼付下さい

上半身正面脱帽
縦4cm×横3cm

記入要領

- 黒ボールペンを用い、楷書ではっきりご記入ください。消せるインクのボールペンは使用しないでください。
- 申し込み状況により、第1希望会場で受験できない場合があります。必ず第4希望まで記入してください。
- 氏名は、戸籍に記載されている文字を記入してください。但し、文字によっては受験票に正しく印字されないことがありますので、通称名の使用を希望する方は氏名欄に括弧書きで通称名を併記してください。
- 実技試験合格证を持っている方は、必ず実技試験合格证の写しを添付してください。
- 受験願書に貼り付ける写真は以下の条件とし、その裏面には撮影年月日および氏名を記入してください。
貼付写真:縦4cm×横3cm:出願前6ヶ月以内に脱帽して正面から撮影したもの
本願書に貼付したものと同一写真を理論試験の受験票に貼付するため、必ずもう1枚用意しておいてください
実技試験受験の際にも別に2枚使用します
- 各種書類の写しは必ず本願書に続けて添付してください。赤十字救急法救急員認定証の写しは裏面に貼付、既卒生の共通科目ⅠⅡⅢ及びAT専門科目修了証明書はA4サイズ用紙1枚に集約して写しをとり、添付してください。

注意事項

- ◎受験料は卒業校(在籍校)の案内に沿ってお支払いください。
- ◎本検定試験受験に際し取得した個人情報、本検定試験の管理及び諸連絡以外には使用いたしません。

日本赤十字社「赤十字救急法救急員」認定証(写し)添付欄

※「赤十字救急法基礎講習修了者認定証」ではありませんのでご注意ください

- 「赤十字救急法救急員」認定証の添付がない場合は、受験することができません。
- 必ず日本赤十字社発行のものとし、日本赤十字社発行以外の認定証は認めませんのでご注意ください。
- 有効期限内(理論試験実施日まで有効)の赤十字救急法救急員認定証の写しを貼付してください。
- 有効期限は認定日から5年間(平成28年3月31日以前に受講した方は3年間)です。有効期限がわかるように、必要な場合は裏面の写しも必ず貼付してください。

※必ず期限を
確認下さい。

赤十字救急法救急員認定証(写し)貼付欄
(表面)

赤十字救急法救急員認定証(写し)貼付欄
(裏面)

※認定証裏面に特に記載がない場合は、裏面の添付は
必要ありません。

令和元年度日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー理論試験受験願書 (免除適応コース個人提出用)

(フリガナ) 氏名			学籍番号
	(男・女)		※卒業生は在学時の番号
生年月日	(西暦)	年 月 日	生まれ
受験希望会場 希望順に番号を記入してください。	第1希望()、第2希望()、第3希望()、第4希望() 1. 札幌 2. 仙台 3. 東京 4. 名古屋 5. 大阪 6. 福岡 ※申し込み状況により、第1希望の会場で受験できない場合があります。第4希望会場まで必ず記入してください。		
免除適応コース 承認校名			
同上 卒業年月	(西暦)	年 月	1. 卒業(修業) 2. 卒業(修業)見込
	※既卒生は、共通科目ⅠⅡⅢ修了証明書及びAT専門科目講習修了証明書の写しを添付してください。証明書の添付がない場合は受験することができません。紛失した場合は早急に再発行の手続きをしてください。		
	※在学生は、共通科目ⅠⅡⅢ修了証明書及びAT専門科目講習修了証明書発行の申請を卒業時に必ず行ってください。この申請をしない場合、試験の結果は全て無効となります。		
赤十字救急法救 急員証の有無	有()・無() ※赤十字救急法救急員認定証(有効期限内)の写しをこの申込書の裏に貼り付けてください。認定証がない場合は、理論試験を受験することができません。		
実技試験合格証 の有無	有()・無() ※実技試験合格証をお持ちの方は、合格証の写しを添付してください。		
各種書類 原本証明	本受験願書に添付した各種書類(救急法救急員認定証、適応コース修了証明書・実技試験合格証(該当者のみ)の写しは原本と相違ないことを証明します。		
	AT専任教員名【専任:主】() 印		

この写真は、受験者本人に相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

免除適応コース承認校名

及び長の氏名(印)

印

写真貼付

上半身正面脱帽

縦4cm×横3cm

記入要領

- 黒ボールペンを用い、楷書ではっきりご記入ください。消せるインクのボールペンは使用しないでください。
- 申し込み状況により、第1希望会場で受験できない場合があります。必ず第4希望まで記入してください。
- 氏名は、戸籍に記載されている文字を記入してください。但し、文字によっては受験票に正しく印字されないことがありますので、通称名の使用を希望する方は氏名欄に括弧書きで通称名を併記してください。
- 実技試験合格証を持っている方は、必ず実技試験合格証の写しを添付してください。
- 受験願書に貼り付ける写真は以下の条件とし、その裏面には撮影年月日および氏名を記入してください。
貼付写真: 縦4cm×横3cm: 出願前6ヶ月以内に脱帽して正面から撮影したもの
本願書に貼付したものと同一写真を理論試験の受験票に貼付するため、必ずもう1枚用意しておいてください
実技試験受験の際にも別に2枚使用します
- 各種書類の写しは必ず本願書に続けて添付してください。赤十字救急法救急員認定証の写しは裏面に貼付、既卒生の共通科目ⅠⅡⅢ及びAT専門科目修了証明書はA4サイズ用紙1枚に集約して写しをとり、添付してください。

注意事項

- ◎受験料は卒業校(在籍校)の案内に沿ってお支払いください。
- ◎本検定試験受験に際し取得した個人情報、本検定試験の管理及び諸連絡以外には使用いたしません。

日本赤十字社「赤十字救急法救急員」認定証(写し)添付欄

※「赤十字救急法基礎講習修了者認定証」ではありませんのでご注意ください

- 「赤十字救急法救急員」認定証の添付がない場合は、受験することができません。
- 必ず日本赤十字社発行のものとし、日本赤十字社発行以外の認定証は認めませんのでご注意ください。
- 有効期限内(理論試験実施日まで有効)の赤十字救急法救急員認定証の写しを貼付してください。
- 有効期限は認定日から5年間(平成28年3月31日以前に受講した方は3年間)です。有効期限がわかるように、必要な場合は裏面の写しも必ず貼付してください。

赤十字救急法救急員認定証（写し）貼付欄
（表面）

赤十字救急法救急員認定証（写し）貼付欄
（裏面）

※認定証裏面に特に記載がない場合は、裏面の添付は
必要ありません。